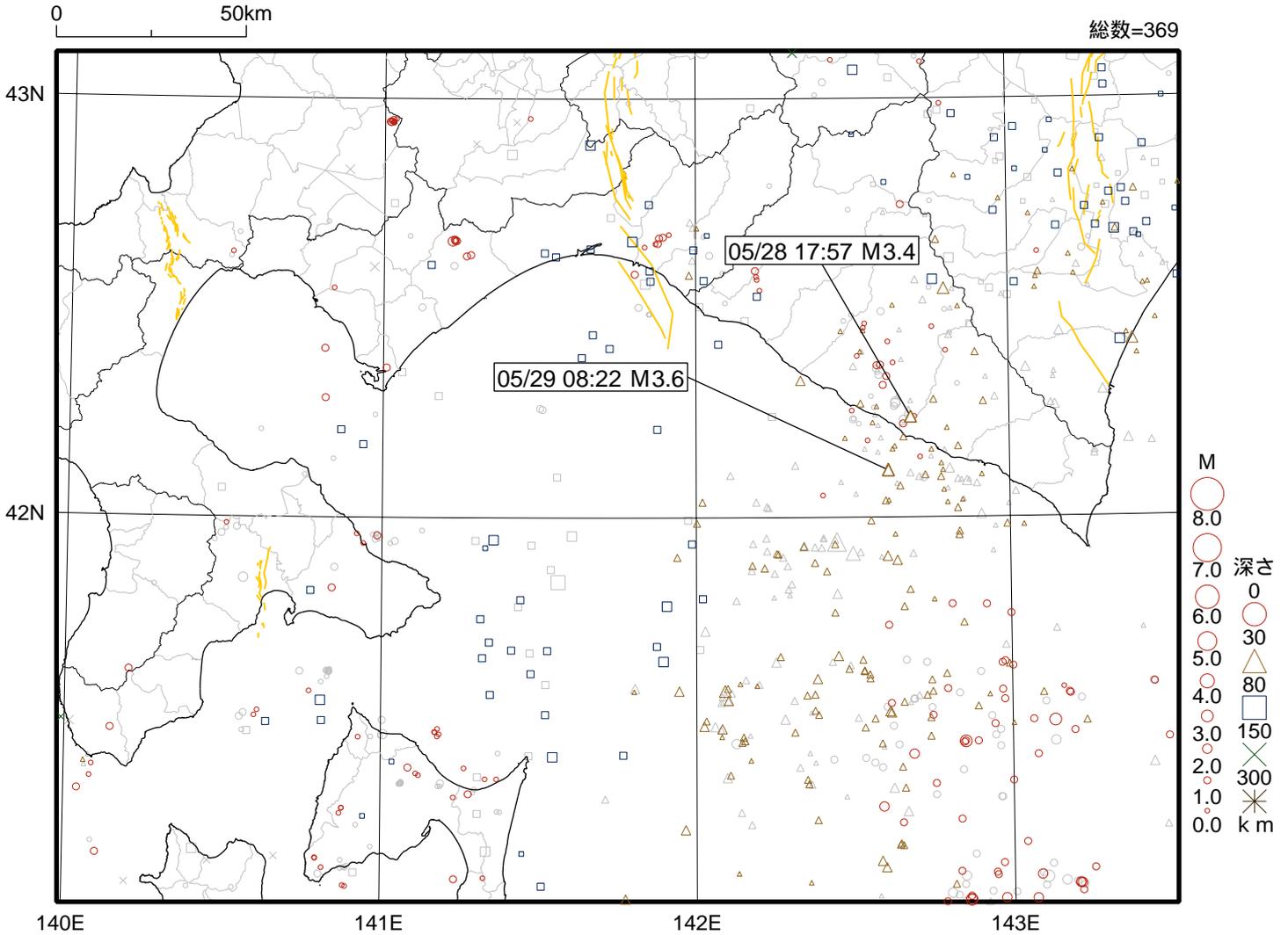


胆振・日高地方の地震活動図

2024年5月1日～2024年5月31日

震央分布図

室蘭地方気象台



地震概況（2024年5月）

この期間、胆振・日高地方の震度観測点で震度1以上を観測した地震は3回（4月は7回）でした。（「胆振・日高地方で震度1以上を観測した地震の表」参照）。

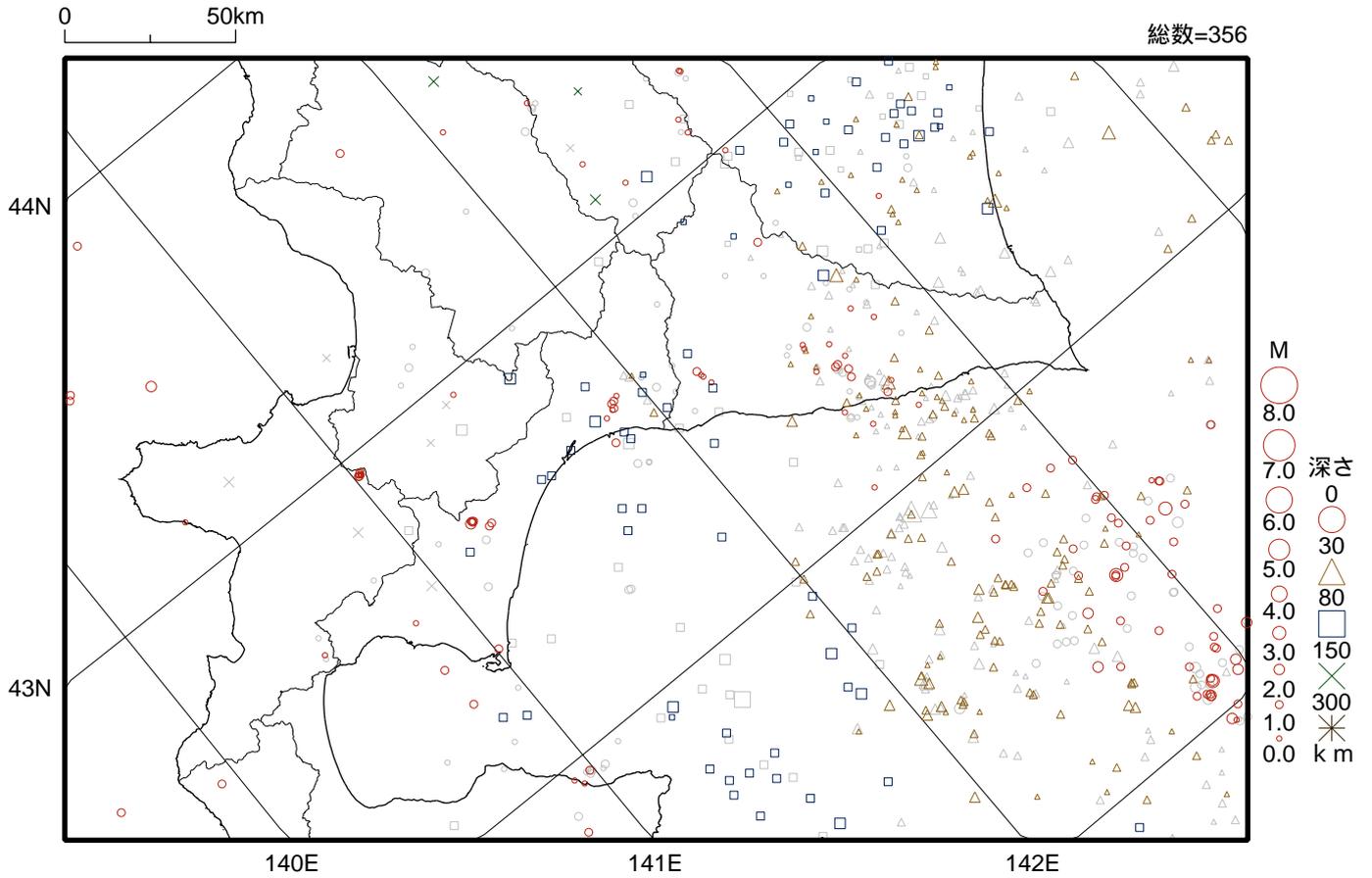
11日09時47分、十勝沖の地震（M4.9、深さ17km、震央分布図の範囲外）により、浦河町、様似町、えりも町で震度1を観測しました。

28日17時57分、日高地方東部（M3.4、深さ35km）により、浦河町で震度1を観測しました。

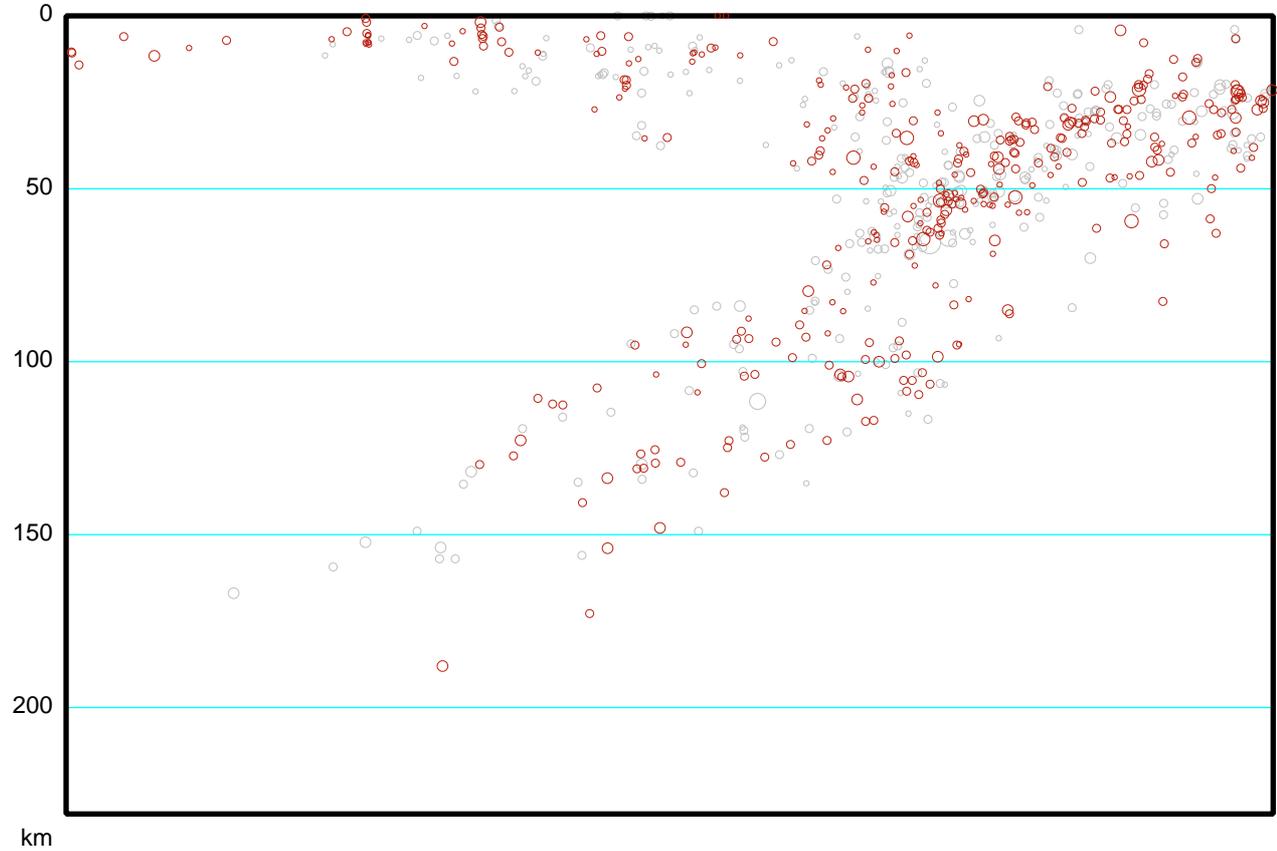
29日08時22分、浦河沖の地震（M3.6、深さ65km）により、安平町、新ひだか町で震度1を観測しました。

2024年5月1日 ~ 2024年5月31日

震央分布図



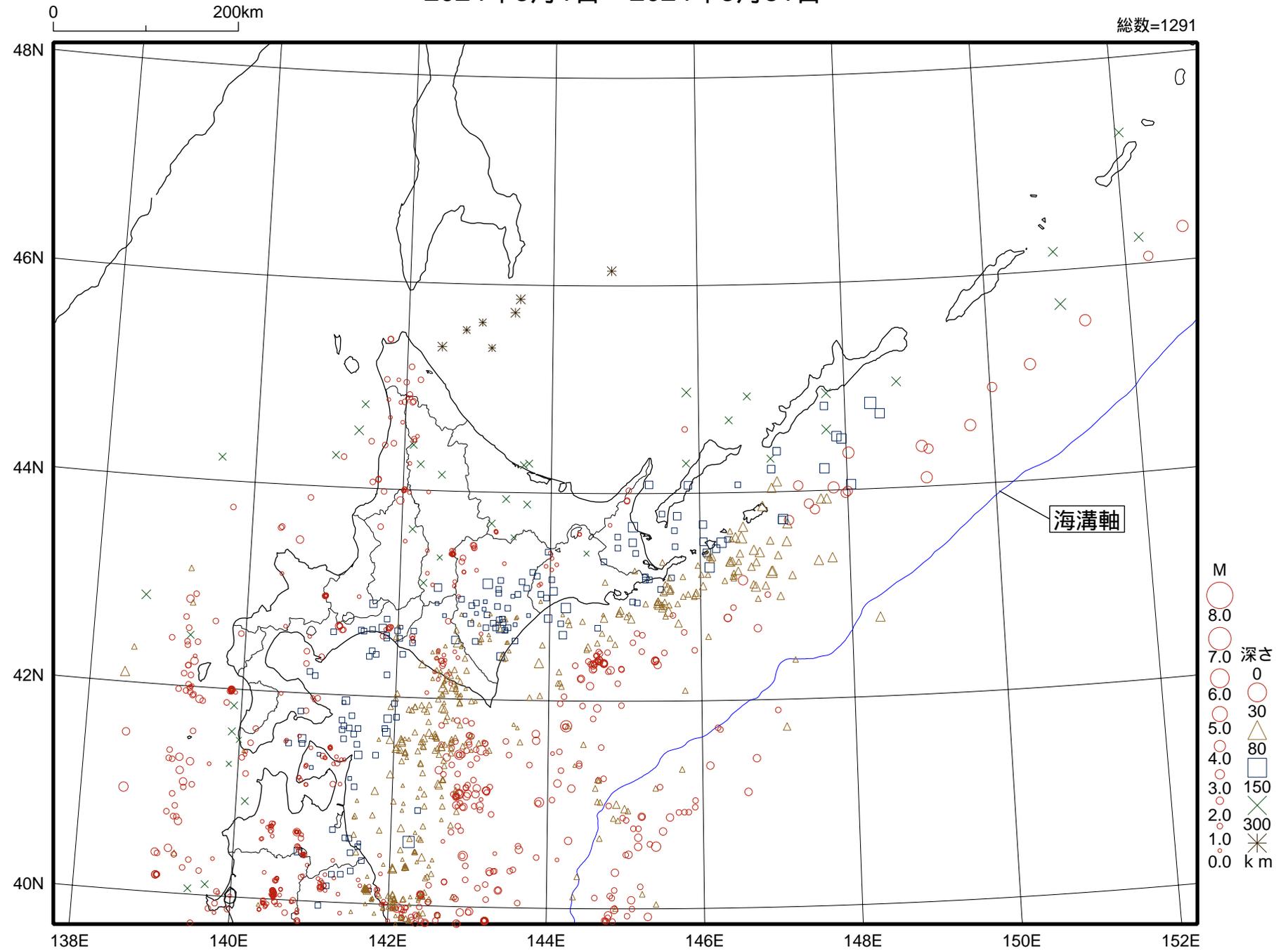
断面図



北海道の地震活動図

2024年5月1日 ~ 2024年5月31日

震央分布図



胆振・日高地方で震度 1 以上を観測した地震の表 (2024年5月)

年 月 日 地方	時 分 震度	震央地名 震度観測点名	北緯 (N)	東経 (E)	深さ (km)	規模 (M)
2024年 5月11日 日高地方	09時47分 震度 1	十勝沖 浦河町潮見(07) 浦河町築地*(09) 様似町栄町*(10) えりも町えりも岬*(07)	41° 45.4 N	144° 13.8 E	17 km	M4.9
2024年 5月28日 日高地方	17時57分 震度 1	日高地方東部 浦河町潮見(07) 浦河町築地*(08)	42° 14.3 N	142° 41.1 E	35 km	M3.4
2024年 5月29日 胆振地方 日高地方	08時22分 震度 1 震度 1	浦河沖 安平町追分柏が丘*(06) 新ひだか町静内山手町(05) 新ひだか町静内御幸町*(06) 新ひだか町三石旭町*(11)	42° 06.7 N	142° 36.8 E	65 km	M3.6

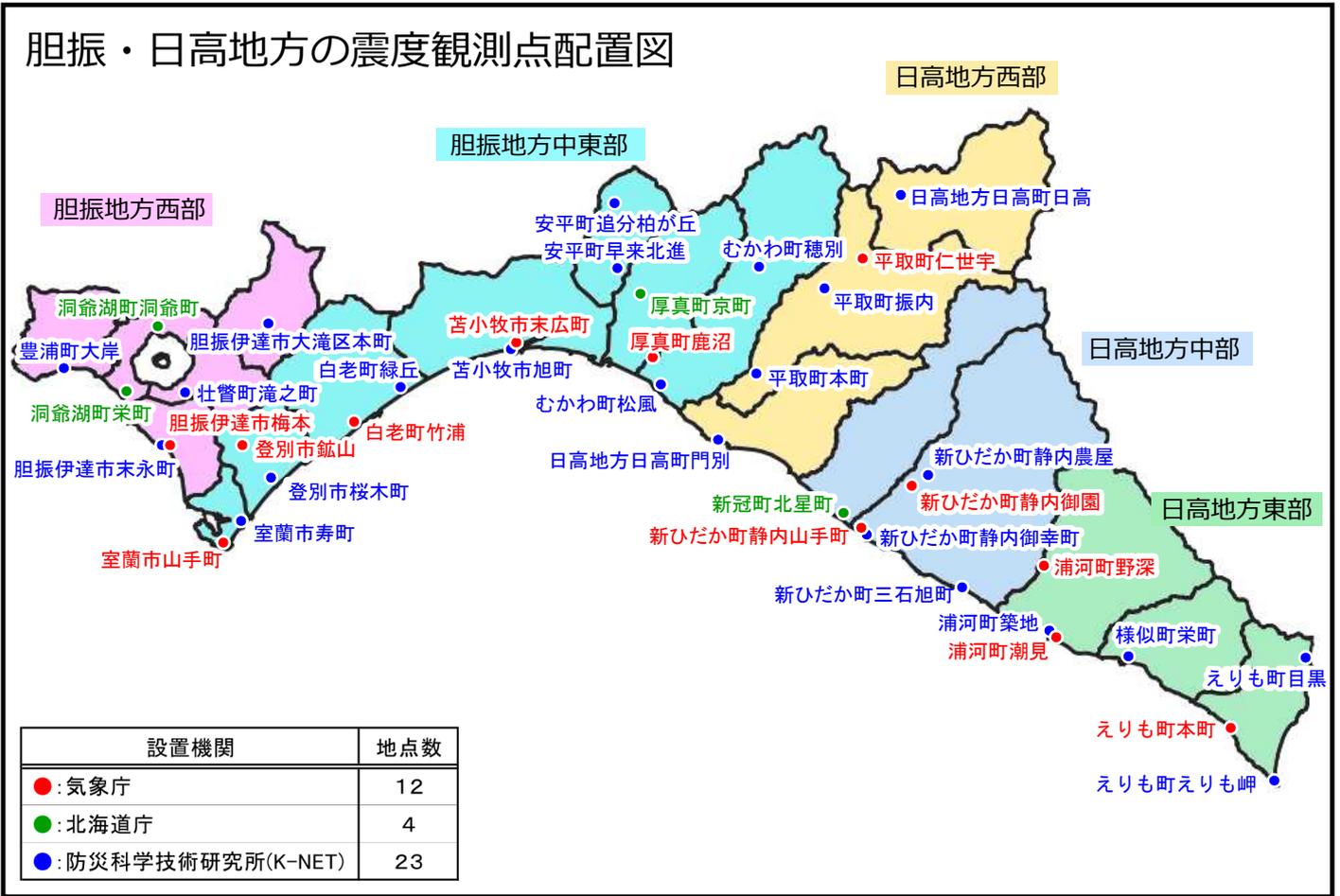
*のついている地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

()内の数値は0.1単位の詳細な震度(計測震度)の小数点を省略して表しています。

計測震度と震度階級の関係

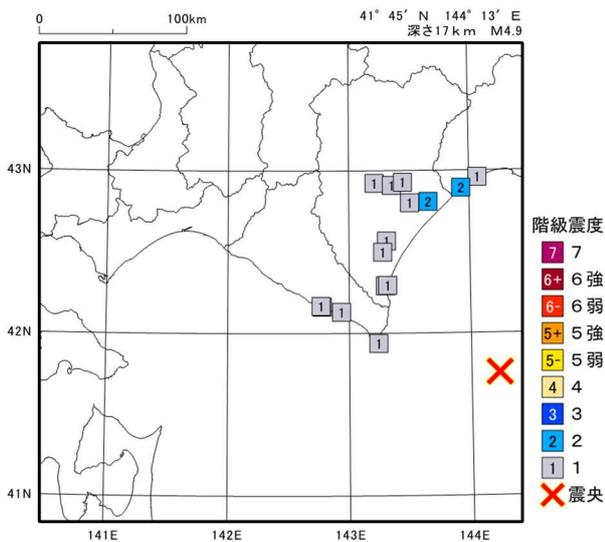
計測震度	~0.4	0.5~1.4	1.5~2.4	2.5~3.4	3.5~4.4	4.5~4.9	5.0~5.4	5.5~5.9	6.0~6.4	6.5~
震度階級	0	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7

胆振・日高地方の震度観測点配置図

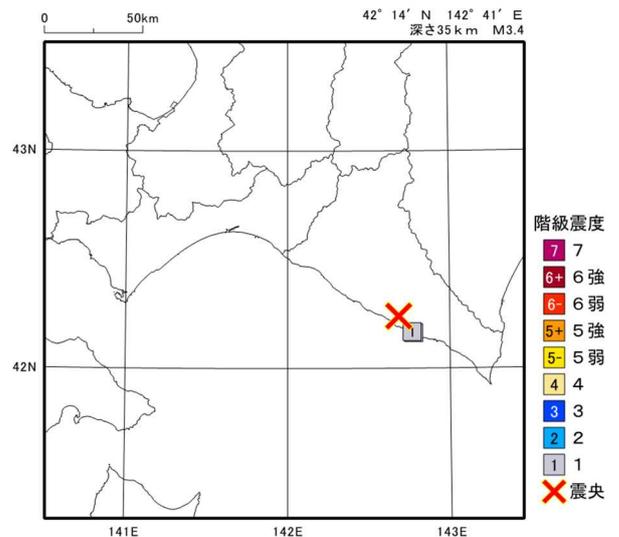


震度分布図（胆振・日高地方で震度1以上を観測した地震）

2024年 5月11日09時47分 十勝沖の地震の震度分布図

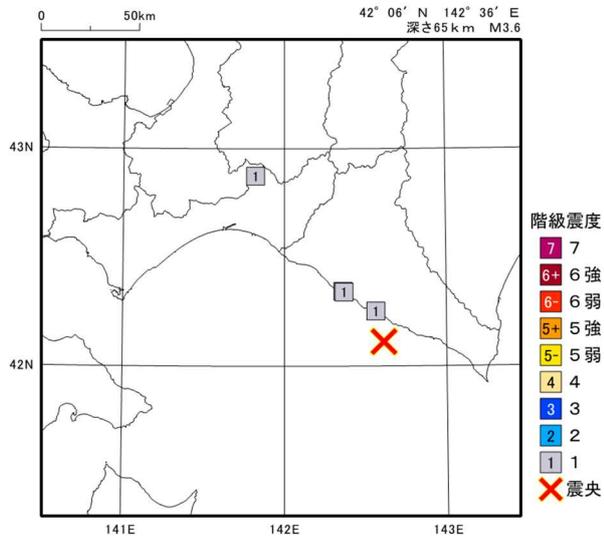


2024年 5月28日17時57分 日高地方東部の地震の震度分布図



震度分布図（胆振・日高地方で震度 1 以上を観測した地震）

2024年 5月29日08時22分 浦河沖の地震の震度分布図



本資料の利用にあたって

- ・ 本資料の震源要素及び震度データは暫定値であり、データは後日変更することがあります。
- ・ 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。
- ・ 図中橙色の線は、地震調査研究推進本部が地震発生可能性の長期的な確率評価を行った主要活断層を表します。
- ・ 過去の地震と比較するため、前3ヶ月（今期間を含まない）の震央を灰色のシンボルで表します。
- ・ 本資料中の地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号平29情使、第798号）。

【防災メモ】

～大津波警報・津波警報・津波注意報～

気象庁は、地震が発生した時には地震の規模や位置を速やかに推定し、これらをもとに沿岸で予想される津波の高さを求め、地震が発生してから約3分を目標に、大津波警報、津波警報又は津波注意報（以下「津波警報等」）を津波予報区単位（図1）で発表します。



図1 北海道の津波予報区

津波警報等では、予想される津波の高さを通常5段階の数値で発表します（表1）。ただし、地震の規模（マグニチュード）が8を超えるような巨大地震では、精度の良い地震の規模をすぐに求めることが出来ず、その海域

における最大の津波想定等をもとに津波警報等を発表します。その場合、最初に発表する津波警報等では、予想される津波の高さを「巨大」や「高い」という言葉で発表し、非常事態であることを伝えます。その後、地震の規模が精度良く求められた時点で津波警報等を更新し、予想される津波の高さを数値で発表します。

表1 津波警報等の種類ととるべき行動（気象庁リーフレット「津波防災」より）

	予想される津波の高さ		想定される被害と取るべき行動
	数値での発表 (発表基準)	巨大地震の 場合の表現	
大津波警報	10m 超 10m < 予想される津波の 最大波の高さ	巨大	<p>巨大な津波が襲い、木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。</p> 
	10m 5m < 予想される津波の ≤ 10m 最大波の高さ		
	5m 3m < 予想される津波の ≤ 5m 最大波の高さ		
津波警報	3m 1m < 予想される ≤ 3m 津波の最大 波の高さ	高い	<p>標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。</p>
津波注意報	1m 20cm ≤ 予想される津波の ≤ 1m 最大波の高さ	(表記 しない)	<p>海の中では人は速い流れに巻き込まれ、また、養殖いかだが流失し小型船舶が転覆します。海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れてください。</p> 

○避難のポイント

- ・震源が陸地に近いと津波警報等が津波の襲来間に間に合わないことがあります。沿岸で強い揺れや弱くても長い揺れを感じたときは、すぐに避難を開始してください。
- ・津波の高さを「巨大」と予想する大津波警報が発表された場合は、東日本大震災のような巨大な津波が襲うおそれがあります。直ちにできる限りの避難をしてください。
- ・津波は沿岸の地形等の影響により、局所的に予想より高くなる場合があります。ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難してください。
- ・津波は長い時間くり返し襲ってくるうえに、一度来た津波より後から来る津波の方が高くなることもあります。津波警報等が解除されるまでは、避難を続けてください。